

2026.5.1開設 美容外科のご案内

ご挨拶・診療方針

この度、当院形成外科では新たに「美容外科」の診療を開始いたしました。これまで私たちが形成外科の日常診療で培ってきた確かな技術と経験を、美容外科という新たな分野でも地域の皆様へ還元してまいります。

形成外科は本来、ケガや先天異常などの治療において「機能の回復」と「見た目の美しさ（形態）」の両立を目指す診療科です。美容外科におきましてもその理念を大切にし、自然な仕上がりと安全性を重視した治療をご提案いたします。また、総合病院ならではの他科との緊密な連携により、患者さんの全身状態に配慮した医療体制を整えております。あわせて、美容医療を含めた形成外科医の教育機関として、適切な診療の継承と発展にも取り組む所存です。

美容外科診療は整容面に対する治療で、自由診療（自費）となります。ただし、診察の結果、症状によっては医師の判断で保険診療の対象となる場合があります。お一人おひとりの状態を的確に診断し、双方の選択肢を含め適した治療方針をご提案いたします。

患者さんがより前向きに、その人らしい毎日を送れるよう、機能面・整容面の双方から全力で支援いたします。些細なことでも、まずはお気軽にご相談ください。

美容外科診療責任者
(形成外科代表部長)
川端 明子



美容外科で行っている主な診療

- ボツリヌストキシン注射（表情じわ、咬筋肥大、多汗症など）
- 眼周囲美容外科手術（上眼瞼・下眼瞼の美容外科手術）
- レーザーフェイシャル
- Vフェイシャル
- しみ治療
- ほくろ・いぼ等の皮膚良性腫瘍の自費治療
- 美容外科相談

※診察の結果、保険診療での治療をご提案する場合があります。

診療内容詳細

※各診療の価格につきましては、下部の料金表をご参照ください

ボツリヌストキシン注射（表情じわ）

①治療内容

厚生労働省承認製剤であるアラガン社製「ボトックスビスタ®」を使用し、表情筋の動きを弱めることで、眉間や目尻などの表情じわを改善する治療です。

効果は注射直後には現れず、通常数日～2週間程度かけて徐々に現れます。

当院では必要に応じて、施術後2～4週間程度で診察を行い、治療効果の確認や追加調整（リタッチ）を行います。

顔面の筋肉や解剖に対する十分な理解が必要な治療であり、注入部位や量によっては、意図しない表情変化を生じる場合があります。

当院では形成外科的解剖知識をもとに、安全性に配慮した治療を行っております。

②治療期間・回数

1回の治療で、通常は3～4ヶ月程度効果が持続します。

必要に応じて、継続治療を行います。

③主なリスク・副作用、注意点

内出血、腫脹、左右差、表情の違和感、頭重感、眼瞼下垂、効果不足など。

また、効果や持続時間には個人差があり、ご希望通りの結果に至らない場合があります。

繰り返し治療を行うことで、まれに耐性が生じ、効果が弱くなる場合があります。

全身性の神経筋接合部疾患（重症筋無力症、ランバート・イートン症候群、筋萎縮性側索硬化症など）のある方には施術できません。

また、妊娠中、妊娠の可能性がある方、授乳中の方には施術できません。

女性は施術後2回の月経を経るまで、男性は施術後3か月間の避妊が必要です。

そのほか、全身状態、基礎疾患、内服薬の内容などにより施術適応とならない場合があります。

ボツリヌストキシン注射（咬筋）

①治療内容

厚生労働省承認製剤であるアラガン社製「ボトックスビスタ®」を使用し、咬筋の動きを弱めることで、食いしばり、歯ぎしり、エラ張りの改善を行う治療です。

効果は注射直後には現れず、通常数日～2週間程度かけて徐々に現れます。

当院では必要に応じて、施術後2～4週間程度で診察を行い、治療効果の確認や追加調整（リタッチ）を行います。

顔面の筋肉や解剖に対する十分な理解が必要な治療であり、注入部位や量によっては、意図しない表情変化や左右差を生じる場合があります。

当院では形成外科的解剖知識をもとに、安全性に配慮した治療を行っております。

②治療期間・回数

効果は通常3～6か月程度持続します。

必要に応じて継続治療を行います。

③主なリスク・副作用、注意点

内出血、腫脹、左右差、咀嚼時の違和感、頬のこけ感、笑った際の頬のふくらみ感、効果不足など。

また、効果や持続期間には個人差があり、ご希望通りの結果に至らない場合があります。

繰り返し治療を行うことで、まれに耐性が生じ、効果が弱くなる場合があります。

全身性の神経筋接合部疾患（重症筋無力症、ランバート・イートン症候群、筋萎縮性側索硬化症など）のある方には施術できません。

また、妊娠中、妊娠の可能性がある方、授乳中の方には施術できません。

女性は施術後2回の月経を経るまで、男性は施術後3か月間の避妊が必要です。

そのほか、全身状態、基礎疾患、内服薬の内容などにより施術適応とならない場合があります。

ボツリヌストキシン注射（多汗症）

①治療内容

厚生労働省承認製剤であるアラガン社製「ボトックスビスタ®」を使用し、汗腺の働きを抑えることで、多汗症の改善を行う治療です。

効果は注射直後には現れず、通常数日～2週間程度かけて徐々に現れます。

②治療期間・回数

効果は通常3～6か月程度持続します。

必要に応じて継続治療を行います。

③主なリスク・副作用、注意点

内出血、疼痛、腫脹、左右差、効果不足など。

また、効果や持続期間には個人差があり、ご希望通りの結果に至らない場合があります。

繰り返し治療を行うことで、まれに耐性が生じ、効果が弱くなる場合があります。

全身性の神経筋接合部疾患（重症筋無力症、ランバート・イートン症候群、筋萎縮性側索硬化症など）のある方には施術できません。

また、妊娠中、妊娠の可能性がある方、授乳中の方には施術できません。

女性は施術後2回の月経を経るまで、男性は施術後3か月間の避妊が必要です。

そのほか、全身状態、基礎疾患、内服薬の内容などにより施術適応とならない場合があります。

マイクロボトックス

①治療内容

厚生労働省承認製剤であるアラガン社製「ボトックスビスタ®」を使用し、皮膚の浅い層へ細かく注射を行うことで、毛穴、皮脂、肌質、皮膚のハリ感などの改善を目指す治療です。

効果は注射直後には現れず、通常数日～2週間程度かけて徐々に現れます。

当院では必要に応じて、施術後2～4週間程度で診察を行い、治療効果の確認や追加調整（リタッチ）を行います。

顔面の筋肉や解剖に対する十分な理解が必要な治療であり、注入部位や量によっては、意図しない表情変化を生じる場合があります。

当院では形成外科的解剖知識をもとに、安全性に配慮した治療を行っております。

②治療期間・回数

効果は通常3～4か月程度持続します。

必要に応じて継続治療を行います。

③主なリスク・副作用、注意点

内出血、腫脹、左右差、表情の違和感、口元の違和感、効果不足など。

また、効果や持続期間には個人差があり、ご希望通りの結果に至らない場合があります。

繰り返し治療を行うことで、まれに耐性が生じ、効果が弱くなる場合があります。

全身性の神経筋接合部疾患（重症筋無力症、ランバート・イートン症候群、筋萎縮性側索硬化症など）のある方には施術できません。

また、妊娠中、妊娠の可能性がある方、授乳中の方には施術できません。

女性は施術後2回の月経を経るまで、男性は施術後3か月間の避妊が必要です。

そのほか、全身状態、基礎疾患、内服薬の内容などにより施術適応とならない場合があります。

たるみ取り（上眼瞼形成）

①治療内容

上眼瞼の余剰皮膚を切除し、上まぶたのたるみ改善を行う手術です。
まぶたの重さや視野の改善、整容的改善を目的として行います。
必要に応じて、ROOF（retro-orbicularis oculi fat）処理、眼窩脂肪処理、眼輪筋処理、二重調整などを併せて行う場合があります。
また、まぶたの状態によっては、眼瞼下垂症手術など保険診療をご案内する場合があります。
当院では、形成外科的・解剖学的観点から、左右差や目元全体のバランスに配慮し、自然な仕上がりを重視した治療を行っております。

②治療期間・回数

局所麻酔を使用して施術を行います。
通常1回の手術です。
術後は1～2週間程度、腫脹や内出血を認める場合があります。
抜糸後も、赤みや硬さが数か月程度持続する場合があります。

③主なリスク・副作用、注意点

腫脹、内出血、左右差、瘢痕形成、二重幅変化、閉瞼しづらさ、感染など。
また、まぶたの状態によっては十分な改善が得られない場合や、ご希望通りの結果に至らない場合があります。
加齢変化により、将来的に再治療が必要となる場合があります。

眉毛下皮膚切除（眉下リフト）

①治療内容

眉毛下縁に沿って余剰皮膚を切除し、上まぶたのたるみ改善を行う手術です。
二重幅を大きく変化させず、自然な印象を保ちながら上眼瞼の重みやたるみ改善を目的として行います。
必要に応じて、ROOF（retro-orbicularis oculi fat）処理や眼輪筋処理を併せて行う場合があります。
また、まぶたの状態によっては、眼瞼下垂症手術など保険診療をご案内する場合があります。
当院では、形成外科的・解剖学的観点から、左右差や眉毛形態にも配慮し、自然な仕上がりを重視した治療を行っております。

②治療期間・回数

局所麻酔を使用して施術を行います。
通常1回の手術です。
術後は1～2週間程度、腫脹や内出血を認める場合があります。
抜糸後もしばらく赤みや硬さが持続する場合があります。

③主なリスク・副作用、注意点

腫脹、内出血、左右差、瘢痕形成、眉毛形態変化、知覚低下、閉瞼しづらさ、感染など。
また、まぶたの状態によっては十分な改善が得られない場合や、ご希望通りの結果に至らない場合があります。
加齢変化により、将来的に再治療が必要となる場合があります。

埋没二重

①治療内容

医療用の糸を用いて、上眼瞼に二重を形成する手術です。
切開を伴わず比較的腫れの少ない治療ですが、まぶたの状態によっては適応とならない場合があります。

糸による固定効果そのものは永続的ではなく、時間経過とともに後戻りする場合があります。
一方で、まぶたに二重のくせが形成されることで、二重が維持される場合があります。
また、必要に応じて糸を除去し、元の状態へ戻すことを検討できる治療です。
まぶたの厚み、蒙古襞、皮膚のたるみなどにより、希望される二重幅が適応とならない場合があります。

当院では、形成外科的・解剖学的観点から、無理のない自然な仕上がりを重視した治療をご提案しております。

②治療期間・回数

局所麻酔を使用して施術を行います。
通常1回の手術です。
術後は数日～1週間程度、腫脹や内出血を認める場合があります。

③主なリスク・副作用、注意点

腫脹、内出血、左右差、感染、糸の露出、違和感、後戻りなど。
また、まぶたの状態によっては十分な効果が得られない場合や、ご希望通りの結果に至らない場合があります。
経年的変化により、将来的に再治療が必要となる場合があります。

切開二重

①治療内容

上眼瞼を切開し、二重を形成する手術です。
まぶたの厚みや皮膚のたるみが強い場合にも適応となる場合があります。
必要に応じて、眼窩脂肪処理、ROOF（retro-orbicularis oculi fat）処理、眼輪筋処理などを併せて行う場合があります。
また、まぶたの状態によっては、眼瞼下垂症手術など保険診療をご案内する場合があります。
当院では、形成外科的・解剖学的観点から、左右差や目元全体のバランスに配慮し、無理のない自然な仕上がりを重視した治療を行っております。
まぶたの厚み、蒙古襞、皮膚のたるみなどにより、希望される二重幅が適応とならない場合があります。

②治療期間・回数

局所麻酔を使用して施術を行います。
通常1回の手術です。
術後は1～2週間程度、腫脹や内出血を認める場合があります。
抜糸後も、赤みや硬さが数か月程度持続する場合があります。

③主なリスク・副作用、注意点

腫脹、内出血、左右差、瘢痕形成、二重幅変化、閉瞼しづらさ、感染など。
また、まぶたの状態によっては十分な改善が得られない場合や、ご希望通りの結果に至らない場合があります。
加齢変化や組織変化により、将来的に再治療が必要となる場合があります。

目頭切開

①治療内容

蒙古襞を切開し、目頭形態や目の横幅の改善を行う手術です。
目元のバランス改善や、二重形成術と併せて行う場合があります。
蒙古襞の形態、左右差、皮膚の性状などにより、希望される変化が適応とならない場合があります。
また、変化量には限界があり、過度な変化をおすすめしない場合があります。
当院では、形成外科的・解剖学的観点から、左右差や顔貌全体とのバランスに配慮し、自然な仕上がりを重視した治療を行っております。

②治療期間・回数

局所麻酔を使用して施術を行います。
通常1回の手術です。
術後は1～2週間程度、腫脹や内出血を認める場合があります。
抜糸後も、赤みや硬さが数か月程度持続する場合があります。

③主なリスク・副作用、注意点

腫脹、内出血、左右差、瘢痕形成、後戻り、涙丘露出、感染など。
また、希望される変化が十分に得られない場合や、ご希望通りの結果に至らない場合があります。
瘢痕の成熟には数か月以上かかる場合があります。

経結膜脱脂

①治療内容

下眼瞼結膜側を切開し、眼窩脂肪を除去することで、目の下のふくらみ改善を行う手術です。
皮膚切開を伴わないため、皮膚表面に傷は生じません。
目の下のふくらみ改善を目的として行いますが、皮膚のたるみやくぼみ感が強い場合には、十分な改善が得られない場合があります。
また、まぶたの状態によっては、下眼瞼形成術（ハムラ法・裏ハムラ法など）をご提案する場合があります。

当院では、形成外科的・解剖学的観点から、左右差や目元全体とのバランスに配慮し、自然な仕上がりを重視した治療を行っております。

②治療期間・回数

局所麻酔を使用して施術を行います。
通常1回の手術です。
術後は1～2週間程度、腫脹や内出血を認める場合があります。
術後の状態に応じて、テーピング処置をおすすめする場合があります。

③主なリスク・副作用、注意点

腫脹、内出血、左右差、くぼみ感、結膜浮腫、違和感、複視、下眼瞼形態変化、感染など。
また、術後に皮膚のたるみや小ジワが目立つ場合があります。
加齢変化や組織変化により、将来的に追加治療が必要となる場合があります。

下眼瞼形成（ハムラ法・裏ハムラ法など）

①治療内容

下眼瞼の眼窩脂肪移動、脂肪再配置、余剰皮膚切除などを行い、目の下のふくらみやくぼみ、たるみ改善を行う手術です。
まぶたの状態に応じて、皮膚切開を伴う方法、結膜側から行う方法などから適切な術式を選択します。
単純な脂肪除去では改善が不十分と考えられる場合や、目の下のくぼみ・段差を伴う場合に適応となることがあります。
また、単純な脂肪除去では、術後にくぼみ感や皮膚のたるみが目立つ場合があります。
皮膚のたるみや小ジワが強い場合には、十分な改善が得られない場合があります。
当院では、形成外科的・解剖学的観点から、左右差や目元全体とのバランスに配慮し、自然な仕上がりを重視した治療を行っております。

②治療期間・回数

局所麻酔を使用して施術を行います。
通常1回の手術です。
術後は1～2週間程度、腫脹や内出血を認める場合があります。
術後の状態に応じて、テーピング処置をおすすめする場合があります。

③主なリスク・副作用、注意点

腫脹、内出血、左右差、くぼみ感、違和感、複視、下眼瞼外反、結膜浮腫、感染など。
また、術後に皮膚のたるみや小ジワが目立つ場合があります。
ご希望通りの改善が得られない場合や、将来的に追加治療が必要となる場合があります。

レーザーフェイシャル

①治療内容

ジェントルレーズレーザーを用いて、顔面の平坦な黒子に対して色調改善を行う治療です。直径2mm程度までの黒子を対象とし、顔面20個以内を目安に施術を行います。アフターケアがほとんど不要で、ダウンタイムが比較的少ない治療です。なお、根本的に黒子を切除する治療ではありません。

②治療期間・回数

症状に応じて治療回数を相談いたしますが、まずは3回の治療をおすすめしております。1回につき1か月以上の間隔をあけて施術します。

③主なリスク・副作用、注意点

発赤、熱感、毛囊炎、一時的な色素沈着など。
また、効果や治療回数には個人差があります。

Vフェイシャル

①治療内容

Vビームレーザーを用いて、赤ら顔や肌質改善を行う治療です。皮膚へ熱刺激を加えることで、肌のきめやハリ感の改善が期待され、ふっくらした印象となる場合があります。また、赤みの改善や肌質を整える目的で継続的に施術を行う場合があります。

②治療期間・回数

症状に応じて複数回の施術をおすすめする場合があります。

③主なリスク・副作用、注意点

発赤、紫斑、腫脹、一時的な色素沈着など。
また、効果や必要回数には個人差があり、十分な改善が得られない場合があります。

しみレーザー

①治療内容

Qスイッチルビーレーザーを用いて、しみの改善を行う治療です。比較的明瞭なしみに対して行う治療で、しみを薄くする効果が期待されます。なお、肝斑に対しては症状を悪化させる場合があります。

②治療期間・回数

通常1～数回の施術を行います。施術後は2週間程度、ガーゼや保護テープによる処置が必要です。再度施術を行う場合は、通常6か月程度の間隔をあけます。

③主なリスク・副作用、注意点

発赤、色素沈着、炎症後色素沈着、色素脱失、瘢痕形成など。
また、効果には個人差があり、十分な改善が得られない場合や、複数回の治療が必要となる場合があります。

ホクロレーザー

①治療内容

ジェントルレーズレーザーを用いて、顔面の平坦な黒子に対して色調改善を行う治療です。直径2mm程度までの黒子を対象とし、顔面20個以内を目安に施術を行います。アフターケアがほとんど不要で、ダウンタイムが比較的少ない治療です。なお、根本的に黒子を切除する治療ではありません。

②治療期間・回数

通常1～3回程度の施術を行います。再度施術を行う場合は、1～2か月程度間隔を空けて施術します。

③主なリスク・副作用、注意点

発赤、色素沈着、再発など。
また、効果には個人差があり、十分な改善が得られない場合があります。

ホクロ・イボ除去

①治療内容

ホクロ・イボなどの皮膚良性腫瘍に対して行う治療です。

病変の大きさ、部位、性状などに応じて、炭酸ガスレーザー、高周波メス、外科的切除などから適切な方法を選択します。

自由診療では、病変の根治性よりも整容的な仕上がりを重視した治療を行う場合があります。

また、病変の状態によっては、悪性腫瘍との鑑別や病理組織検査が望ましい場合があります、保険診療をご案内する場合があります。

②治療期間・回数

局所麻酔を使用して施術を行います。

治療回数は基本的に1回です。

術後は1～2週間程度、軟膏処置や保護テープ処置が必要となります。

創閉鎖後も、遮光やテーピング処置などをおすすめする場合があります。

③主なリスク・副作用、注意点

発赤、色素沈着、再発、瘢痕形成、陥凹など。

また、病変の性状によっては十分な改善が得られない場合があります。

美容外科 料金表 (自費)

診察料

| | |
|----------|--------|
| 診察料 (初診) | ¥3,410 |
| 診察料 (再診) | ¥880 |

レーザー治療

| | |
|--------------------|---------|
| レーザーフェイシャル | ¥18,700 |
| ホクロレーザー | ¥11,000 |
| しみレーザー (直径1cmまで) | ¥16,500 |
| しみレーザー (直径2cmまで) | ¥22,000 |
| しみレーザー (直径2.5cmまで) | ¥27,500 |
| しみレーザー (それ以上) | ¥33,000 |
| Vフェイシャル | ¥19,800 |

注入 (ボトックス)

| | |
|----------------------|---------|
| ボトックスビスタ (表情じわ1部位) | ¥20,020 |
| ボトックスビスタ (表情じわ2部位) | ¥30,030 |
| ボトックスビスタ (表情じわ3部位) | ¥40,040 |
| ボトックスビスタ (咬筋: 25単位) | ¥35,090 |
| ボトックスビスタ (咬筋: 50単位) | ¥40,040 |
| ボトックスビスタ (咬筋: 100単位) | ¥60,060 |
| ボトックスビスタ (多汗) | ¥46,090 |
| マイクロボトックス (毛穴) | ¥22,000 |
| マイクロボトックス (フェイスライン) | ¥22,000 |
| マイクロボトックス (たるみ) | ¥38,500 |

手術 (上眼瞼)

| | |
|------------|----------|
| 埋没二重A (両眼) | ¥80,080 |
| 埋没二重A (片眼) | ¥60,060 |
| 埋没二重B (両眼) | ¥150,040 |
| 埋没二重B (片眼) | ¥120,010 |
| 目頭切開 (両眼) | ¥132,000 |
| 目頭切開 (片眼) | ¥105,600 |
| 切開二重 (両眼) | ¥280,060 |
| 切開二重 (片眼) | ¥224,070 |
| たるみ取り (両眼) | ¥300,080 |
| たるみ取り (片眼) | ¥240,020 |

手術 (下眼瞼)

| | |
|------------|----------|
| 経結膜脱脂 (両眼) | ¥180,070 |
| 経結膜脱脂 (片眼) | ¥144,100 |
| 下眼瞼形成 (両眼) | ¥330,000 |
| 下眼瞼形成 (片眼) | ¥264,000 |

手術 (その他)

| | |
|----------------------|---------|
| ホクロ・イボ除去 (直径1cmまで) | ¥16,500 |
| ホクロ・イボ除去 (直径2cmまで) | ¥22,000 |
| ホクロ・イボ除去 (直径2.5cmまで) | ¥27,500 |

麻酔薬

| | |
|--------------|--------|
| エクラクリーム5gまで | ¥940 |
| エクラクリーム10gまで | ¥1,880 |

※処方・手術に伴う術前検査・手術時の薬剤については、
診療報酬点数表に準じた料金となります。(1点10円、自費課税)

受診を希望される方へ

■ご予約方法

- ・美容外科は完全予約制となります。
ご予約は1F「Bブロック受付」にてお取りいたします。お電話でのご予約の際は、「予約センター（0565-43-5001）」までご連絡ください。
- ・受診当日は再来受付機にて受付いただき、「Bブロック受付」までお越しく下さい。
当院に初めて受診される方は、「3.新患受付」までお越しく下さい。

■診察について

- ・まずは診察にて症状の問診や、治療内容や費用等についての説明をいたします。
- ・施術の適応や可否につきましては、医師が診察の上で最終的に判断いたします。
ご希望の治療を受けられない場合もございますのでご了承ください。

■施術について

- ・美容外科で行っている診療は、ホームページに記載のもののみとなります。
- ・施術日は治療内容により異なります
【手術治療】
診察日と施術日は別日となります。施術日は診察時にご相談いたします。
【レーザー治療・ボトックス】
診察後に引き続き施術させていただきます
※当日の状況によって後日となる場合がありますことご了承ください

■費用について

- ・美容外科では自由診療（保険適用外）となります。
(症状によっては医師の判断で保険診療での治療をご提案する場合があります)
- ・料金は別表の通りとなります。
受診ごとに診察料が発生し、施術日には追加で手技料が発生いたします。

■お問い合わせ先

- ・美容外科全般について
豊田厚生病院 Bブロック受付（美容外科受付）：0565-43-5000（代表）
- ・ご予約について
予約センター：0565-43-5100